



会社名: アフラックインコーポレーテッド
株式銘柄コード: 8686
問い合わせ先: アフラック日本社 IR サポート部
村上 一郎 (Tel: 03-3344-0481)

Aflac Incorporated は2013年度第2四半期の業績を発表

2013年度第3四半期現金配当を宣言

ジョージア州、コロンバス - 2013年7月30日

Aflac Incorporated (以下、「当社」)は本日、2013年度第2四半期の業績を以下のとおり発表しました。

当四半期の収益合計は、円安ドル高を反映して、前年同期の59億ドルから2.4%増加し、60億ドルとなりました。当期純利益は、前年同期の4億8,300万ドル(希薄化後1株当たり1.03ドル)から8億8,900万ドル(同1.90ドル)となりました。

前年同期の当期純利益には2億7,200万ドル(希薄化後1株当たり0.58ドル)の税引後資産運用実現損(実現益とのネット)が含まれていたのに対し、当四半期の当期純利益には、1億3,000万ドル(同0.28ドル)の税引後資産運用実現益(実現損とのネット)が含まれていました。当四半期の有価証券取引による税引後資産運用実現益は5,500万ドル(希薄化後1株当たり0.12ドル)でした。当四半期の日本社の特定のドル建て投資に関連するヘッジ費用は、税引後で400万ドル(希薄化後1株当たり0.01ドル)でした。当四半期のその他のデリバティブ及びヘッジ活動による税引後資産運用実現益(ネット)は7,900万ドル(希薄化後1株当たり0.17ドル)でした。

当社は、当社事業に収益をもたらす諸要素について理解するために、事業利益(米国会計基準 GAAP 外の指標)の分析が極めて重要であると考えています。事業利益とは、有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じた資産運用実現損益ならびにその他の非経常的損益を除外した、当社事業から得られる利益です。当社のデリバティブ活動には、主として通貨スワップ、金利スワップ、連結変動持分事業体におけるクレジット・デフォルト・スワップ、当社が発行する優先社債及び劣後社債に関連する通貨スワップ、及び当社が投資する米ドル建て有価証券に係る為替変動リスクのヘッジに用いられる為替先物取引が含まれます。有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じる資産運用実現損益ならびに非経常的損益は、全般的な経済情勢など外部環境が大きく影響すること、あるいは当社の保険事業に直接関係しない数少ない取引に関連するものであることから、当社保険事業の基盤や傾向を必ずしも正確に反映していないため、当社では、保険事業の財務業績を評価するにあたって事業利益を用いています。

さらに、アフラックの事業全体に占める日本社の割合が非常に大きいため、日本の機能通貨である円から米ドルへの換算が事業利益に与える影響を理解することも同様に重要であると考えています。当社は、日本社の損益計算書の作成にあたっては、当該期間の平均円/ドル為替レートを、また貸借対照表の作成にあたっては、期末の円/ドル為替レートを、それぞれ使用していますが、日本社のドル建て投資プログラムを含む限られた取引を除いて、実際に円貨をドル貨に換金することはありません。したがって、当社は、外貨の換算は財務諸表作成の目的に利用するものであって、当社や株主の皆様に対して実際に経済的な意味を持つものではないと考えています。また、為替変動によっては当社事業の成長率が歪められてしまうため、当社は、財務諸表を使って当社事業を評価する場合、為替変動の影響を除外した財務業績も評価されるべきであると考えています。本リリースの最後に為替変動の影響を含めた場合とそれを除外した場合の主な業績数値の比較表を掲載していますので、ご参照ください。

当四半期の事業利益は、前年同期の7億5,500万ドルから、7億5,900万ドルとなりました。希薄化後1株当たり事業利益は前年同期の1.61ドルから0.6%とわずかに増加し、1.62ドルとなりました。為替レートが円安ドル高に推移したことで、当四半期の希薄化後1株当たり事業利益は0.22ドル減少しました。円安ドル高の影響を除いた1株当たり事業利益は14.3%の増加となりました。

今年度上半期の業績も、円安ドル高により圧迫されました。収益合計は前年同期の121億ドル

から 0.9%増加し 123 億ドルとなりました。当期純利益は前年同期の 13 億ドルから 18 億ドルに、希薄化後 1 株当たり当期純利益は 2.71ドルから 3.80ドルになりました。一方、今年度上半期の事業利益は、前年同期の 16 億ドルから 15 億ドルに、希薄化後 1 株当たり事業利益は前年同期 3.35ドルから 3.31ドルとなりました。円安ドル高による、希薄化後 1 株当たりのマイナスの影響 0.37ドルを除くと、今年度上半期の希薄化後 1 株当たり事業利益は 9.9%増加しました。

円安ドル高を反映して、運用資産及び現金・預金合計は、2013 年 3 月 31 日現在が 1,074 億ドルであったのに対して、2013 年 6 月 30 日現在では 1,039 億ドルとなりました。

当四半期、当社は約 1 億 2,900 万ドル相当(およそ 230 万株)の自己株式を取得しました。その結果、今年度上半期の自己株式の取得は合計で 2 億 7,900 万ドル相当(およそ 530 万株)となりました。2013 年 6 月 30 日現在、当社の自己株式取得承認枠は、1,720 万株となっています。

株主持分は、2013 年 3 月 31 日現在が 155 億ドル(1 株当たり 33.34ドル)であったのに対し、2013 年 6 月 30 日現在では 137 億ドル(1 株当たり 29.46ドル)でした。株主持分に含まれている保有有価証券及びデリバティブに係る未実現損益(ネット)は、2013 年 3 月 31 日現在が 20 億ドルの益であったのに対し、2013 年 6 月 30 日現在では 2 億 900 万ドルの損でした。当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年換算で 24.3%でした。事業ベース(当期純利益に含まれる資産運用実現損益(ネット)合計及び株主持分に含まれる運用資産及びデリバティブの未実現損益を除く)で見ると、当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年換算で 22.1%でした。

日本社

円ベースで見ると、保険料収入は、8.6%増加しました。投資収益(ネット)は 16.6%増加しました。当四半期の日本社の投資収益の約 44%がドル建てであったことから、日本社の円ベースの投資収益の伸びは、円安ドル高の影響によって押し上げられました。当四半期の日本社の収益合計は前年同期に比べて 10.0%増加しました。当四半期の税引前事業利益率は、前年同期の 19.6%から 21.5%に改善しました。この結果には、前年同期よりも低い保険金給付金比率と事業費率が反映されています。円ベースの税引前事業利益は 20.1%増加しました。ドル建ての運用

資産に関する収益及び費用に係る為替レートの変動の影響を除いた日本社の税引前事業利益は13.5%増加しました。一方、今年度上半期の円ベースの保険料収入は9.2%、投資収益(ネット)は11.8%、収益合計は9.8%、税引前事業利益は15.2%それぞれ増加しました。

期中平均円/ドル為替レートは、前年同期が1ドル=80.19円であったのに対し、当四半期は18.8%円安ドル高の1ドル=98.76円でした。一方、今年度上半期の平均円/ドル為替レートは、前年同期が1ドル=79.88円であったのに対し、16.4%円安ドル高の1ドル=95.60円でした。当四半期及び今年度上半期の日本社のドルベースでの成長率は、為替レートが前年同期に比べ円安ドル高であったため、それぞれ押し下げられました。

ドルベースで見ると、日本社の当四半期の保険料収入は11.8%減少し、37億ドルとなりました。当四半期の投資収益(ネット)は5.4%減少し、6億5,300万ドルとなりました。収益合計は10.7%減少し、44億ドルに、税引前事業利益は前年同期比2.5%減少し、9億4,000万ドルとなりました。今年度上半期の保険料収入は8.9%減少し、76億ドルとなりました。投資収益(ネット)は6.6%減少し13億ドルとなりました。収益合計は8.3%減少し90億ドルに、税引前事業利益は3.7%減少し、19億ドルとなりました。

当四半期の新契約年換算保険料は43.1%減の303億円(3億700万ドル)となりました。がん保険と医療保険を含む第三分野商品の販売は、4.9%減少しました。予想通り、当四半期には「WAYS」の販売が大幅に減少し、金融機関窓販は67.2%減少しました。

今年度上半期の新契約年換算保険料は20.4%減少して841億円(8億8,500万ドル)となりました。

米国社

当四半期の米国社の保険料収入は3.5%増加し、13億ドルに、投資収益(ネット)は3.1%増加して1億5,800万ドルとなりました。収益合計は3.4%増の15億ドルとなりました。税引前事業利益率は、保険金給付金比率の改善を反映し、前年同期の18.3%から19.5%に上昇しました。税引前事業利益は9.9%増の2億8,300万ドルとなりました。今年度上半期の収益合計は3.6%増

の 29 億ドルに、保険料収入は 3.8%増の 26 億ドルになりました。投資収益(ネット)は 3.2%増加して 3 億 1,400 万ドルとなりました。税引前事業利益は、前年同期比 6.6%増の 5 億 6,400 万ドルとなりました。

当四半期の米国社の新契約年換算保険料は、1.4%増加し、3 億 6,400 万ドルとなりました。また、当四半期の継続率は 76.3%で前年同期は 76.6%でした。今年度上半期の新契約年換算保険料は 1.9%減少して 6 億 9,600 万ドルとなりました。

現金配当

取締役会は、2013 年度第 3 四半期支払いの現金配当を宣言しました。2013 年度第 3 四半期の現金配当は 1 株当たり 0.35ドルで、2013 年 8 月 21 日の市場終了時点の登録株主に対し、2013 年 9 月 3 日に支払われます。

今後の見通し

当四半期の業績について、当社会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。「当四半期の日本社の財務業績は、大幅な円安の影響で実体が隠れている面はありますが、強い実績を挙げました。予想通り、当四半期の日本社全体の販売は大幅に減少しました。これは主として二つの要因によるものです。まず、予定利率の引き下げを反映した「WAYS」をはじめとする第一分野商品の料率改定です。二番目は株式や債券投資のリターンが改善したことです。これにより、銀行の顧客が「WAYS」のような保険商品から投資信託に目を向けるようになりました。ここでご留意いただきたいのは、日本社の販売目標と重点施策はがん保険、医療保険を含む第三分野商品に集中しているということです。当四半期も、第三分野商品の販売は予想通り減少しましたが、主として、8 月に発売する新医療保険商品により、今年度下半期、特に第 4 四半期に、当社の第三分野商品に対する顧客の反応が強いものになると引き続き確信しています。従いまして、日本社の第三分野商品の年間の販売は、前年度比フラットから 5%増の間になるものと、引き続き確信しております。また、今後を展望して、先週、日本社が日本郵政グループと締結した新たな契約を大変喜ばしく思います。この新たな契約により、当社の販売チャンネルを強化し、当社のがん保険を新たなお客様にお届けすることができます。」

「当四半期の米国社の販売は、1.4%増加しました。この結果、今年度上半期の米国社の販売は、1.9%減少となりました。失業率はいくばくかの改善の兆しを見せていますが、雇用状況は引き続き弱含みであり、特に当社の保険契約の90%を占める中小企業については、その傾向が顕著です。当社は将来の販売成長のための基盤構築に注力していますが、年間の販売目標を達成するため、現在も懸命な努力を続けています。当社の商品に対するニーズには引き続き非常に強いものがあると当社は確信しており、潜在的な顧客との接点をより良く持つために、様々な手段を用いて行きます。当社は引き続き、当社の強力なブランドと、変化を続ける医療環境に対応した商品群を活用する機会を追求して行きます。」

「当社の事業における別の重要な側面は、ご契約者と社債保有者の皆様のために、リスクベース資本比率(RBC 比率)やソルベンシー・マージン比率によって表される、強固な自己資本比率を維持することです。当四半期の米国法定会計基準あるいは金融庁ベースの財務諸表はまだ完成していませんが、2013年6月30日現在の当社のRBC比率は、2012年末の630%を上回り、700%を超えるものと予想しています。2013年6月30日現在の日本社のソルベンシー・マージン比率については、第1四半期末の686%から、585%程度となるものと見込まれます。このソルベンシー・マージン比率の低下は、主として米国における金利の急上昇と、日本における金利の上昇により、日本社が保有する売却可能債券の市場価格が低下したことによるものです。ここで重要な点は、第2四半期におけるソルベンシー・マージン比率は、500%から600%を目標値にしていたことであり、その上限値を維持しているということです。」

「私は、日本社の新規運用利回りが昨年度上半期の2.0%から大幅に上昇し、今年度上半期には3.02%になったことを喜ばしく思います。第2四半期の日米の金融市場のボラティリティに鑑み、当社の投資部門は、運用資産の配分に関連した投資対象の選定や、金利リスクを低減させるための戦略などについて、慎重に評価を行っています。このような状況の下で、第3四半期のキャッシュ・フローの大半は、日本国債に配分するものとし、ヘッジ付米国社債への配分を低下させる見込みです。変化を続ける経済環境に対応するため、投資の機能と能力をさらに強化することに、当社は引き続きコミットしています。」

「フィナンシャル・アナリスト・ミーティングでお伝えした通り、当社は本年度、6億ドル相当の自己株式を取得する考えです。さらに来年度は年間で6億ドルから9億ドル相当の自己株式を取得し、

自己株式の取得を増やす計画に変わりありません。」

「為替変動の影響を除いた希薄化後 1 株当たり事業利益の成長率を対前年比 4%から 7%とすることが、当社の 2013 年度の目標です。今年度上半期についてはこのレンジを上回る実績となりましたが、下半期には費用の増加を計画しています。日本社では、8 月に発売される新商品に関する広告宣伝およびプロモーション費用を増加させます。また、米国社では医療制度改革に関連する取り組みにより発生する費用が増加する見込みです。このような状況の下、為替変動の影響を除く年間の事業利益の成長率は、約 5%と予想しています。第 3 四半期は、前年同期に税務上の恩恵が希薄化後 1 株当たり 0.10 ドル計上されていたため、困難な比較となります。もし第 3 四半期の平均円／ドル為替レートが 1 ドル=95 円から 105 円の間で推移したと仮定した場合、第 3 四半期の希薄化後 1 株当たり事業利益は 1.41 ドルから 1.51 ドルの間になると予想しています。また、同じ為替レートの仮定を用いた場合、2013 年通年の希薄化後 1 株当たり事業利益は、5.83 ドルから 6.37 ドルの間になると予想しています。

アフラックについて

当社は、ご契約者が病気または怪我をした時に現金を迅速にお支払いします。60 年近くにわたって、当社の商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。当社は米国においては更新保障付保険販売における No.1 の会社で、日本においては個人保険の保有契約件数で第 1 位の生命保険会社です。世界で 5,000 万人以上の方が当社の個人及び団体保険に加入しています。『Ethisphere』誌は 7 年連続で当社を「世界で最も倫理観の高い企業」に選出しています。また、2013 年、『フォーチュン』誌は当社を 15 年連続で「全米で最も働きがいのある企業 100 社」に選出するとともに、12 回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」にも選出、当社を生命保険及び医療保険分野で第 1 位にランクしました。Aflac Incorporated はフォーチュン 500 社に入っており、ティッカーシンボル AFL としてニューヨーク証券取引所に上場しています。当社に関するさらに詳しい情報は aflac.com 又は espanol.aflac.com をご覧ください。

当四半期の業績数値の補足資料 (FAB Supplement)、金融セクターにおける全運用資産の一覧表、永久証券及びユーロ圏周辺国向けの保有有価証券におけるソブリン債及び金融機関債への投資の一覧表は、aflac.com「Investors」ページから入手可能です。

当社は当四半期業績報告の電話会議の様子を 2013 年 7 月 31 日木曜日午前 9 時 00 分(米国東部夏時間)に aflac.com 「Investors」ページ上で公開します。

Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く—無監査)

6月30日に終了した3ヶ月間:

	2013年	2012年	増減率
収益合計	6,044	5,902	2.4%
保険金給付金	3,411	3,763	-9.4%
新契約費及び事業費合計	1,275	1,398	-8.7%
税引前当期純利益	1,358	741	83.3%
法人税等	469	258	
当期純利益	889	483	83.9%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.91	1.04	83.7%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.90	1.03	84.5%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	465,213	466,788	-0.3%
希薄化後	467,975	468,590	-0.1%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.35	0.33	6.1%

6月30日に終了した6ヶ月間:

	2013年	2012年	増減率
収益合計	12,252	12,142	0.9%
保険金給付金	6,932	7,409	-6.4%
新契約費及び事業費合計	2,601	2,790	-6.8%
税引前当期純利益	2,719	1,943	40.0%
法人税等	938	675	
当期純利益	1,781	1,268	40.4%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	3.82	2.72	40.4%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	3.80	2.71	40.2%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	465,834	466,337	-0.1%
希薄化後	468,546	468,561	-
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.70	0.66	6.1%

Aflac Incorporated およびその子会社連結貸借対照表(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数を除く—無監査)

6月30日現在:

	2013年	2012年	増減率
資産:			
運用資産および現金・預金	103,936	109,255	-4.9%
繰延新契約費	9,028	9,961	-9.4%
その他の資産	3,349	2,993	11.9%
資産合計	116,313	122,209	-4.8%
負債および株主持分:			
保険契約準備金	90,626	99,125	-8.6%
社債等	4,946	3,672	34.7%
その他の負債	7,045	5,233	34.6%
株主持分	13,696	14,179	-3.4%
負債および株主持分合計	116,313	122,209	-4.8%
期末発行済普通株式数(単位:千株)	464,820	468,110	-0.7%

事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

6月30日に終了した3ヶ月間:

	2013年	2012年	増減率
事業利益	759	755	0.5%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	55	-228	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-4	-	
デリバティブおよびヘッジ活動の影響	79	-44	
当期純利益	889	483	83.9%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	1.62	1.61	0.6%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	0.12	-0.49	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-0.01	-	
デリバティブおよびヘッジ活動の影響	0.17	-0.09	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.90	1.03	84.5%

6月30日に終了した6ヶ月間:

	2013年	2012年	増減率
事業利益	1,549	1,569	-1.3%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	97	-310	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-7	-	
デリバティブおよびヘッジ活動の影響	142	9	
当期純利益	1,781	1,268	40.4%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	3.31	3.35	-1.2%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	0.20	-0.66	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-0.02	-	
デリバティブおよびヘッジ活動の影響	0.31	0.02	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	3.80	2.71	40.2%

為替変動の業績への影響¹
 (主要項目の前年同期比増減率－無監査)

2013年6月30日に終了した3ヶ月間:

	<u>為替変動の 影響を含む</u>	<u>為替変動の 影響を除く²</u>
保険料収入	-8.3%	7.4%
投資収益(ネット)	-3.8%	6.2%
保険金給付金および事業費合計	-9.2%	6.2%
事業利益	0.5%	14.1%
希薄化後1株当たり事業利益	0.6%	14.3%

2013年6月30日に終了した6ヶ月間:

	<u>為替変動の 影響を含む</u>	<u>為替変動の 影響を除く²</u>
保険料収入	-6.0%	7.8%
投資収益(ネット)	-4.7%	3.9%
保険金給付金および事業費合計	-6.5%	6.9%
事業利益	-1.3%	9.8%
希薄化後1株当たり事業利益	-1.2%	9.9%

¹数値は本リリースにおいて定義した事業利益ベースで表示している。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートを用いて算出した。

2013年1株当たり事業利益予想

<u>円/ドル平均為替レート</u>	<u>1株当たり年間事業利益</u>	<u>対2012年増加率</u>	<u>為替の影響</u>
79.81*	\$6.86 - \$7.06	3.9% - 7.0%	\$ -
90	\$6.37 - \$6.57	-3.5% - -0.5%	\$ -0.49
95	\$6.17 - \$6.37	-6.5% - -3.5%	\$ -0.69
100	\$5.99 - \$6.19	-9.2% - -6.2%	\$ -0.87
105	\$5.83 - \$6.03	-11.7% - -8.6%	\$ -1.03

*実際の2012年の年間加重平均為替レート

予測情報について

1995年の私的証券訴訟改革法は、企業に対して、いわゆる「安全港」の規定を設けています。規定によれば、その記述が将来予測に関する記述（forward-looking statement）として特定され、将来予測に関する記述に含まれる内容と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した有意義な警告を伴うならば、自社の見通しに関する情報を積極的に提供しよう奨励しています。当社は、この規定を活用したいと考えています。本書には、将来の見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した警告を記載しています。こうした将来の見通しは、本書の中、あるいはアナリストと当社役員との議論、米国証券取引委員会（SEC）に提出された文書の記述に含まれています。

将来予測に関する記述は、過去の情報に基づくものではなく、将来の事業、戦略、財務業績及びその他の進展事項に関するものです。更に、将来予測に関する情報は、さまざまな仮定や、リスク、不確定要素から影響を受けます。特に、「予想する」「予測する」「確信している」「目標」「目的」「可能性がある」「すべきである」「推定する」「意図する」「見積もる」「するつもりである」「仮定する」「潜在的」「対象」、あるいはその他の類似した言葉を含む記述、また将来の結果についての特定の予測は一般に将来予測に関する記述です。当社は、将来予測に関する記述について、最新情報を提供する義務を負いません。

当社が時々言及している事項のほかに、将来予測に関する記述と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある事項は以下のとおりです。

- ・世界資本市場及び経済の困難な状況
- ・金融市場の安定化を目指す政府の行動
- ・当社の投資先の債務不履行及び格付けの引き下げ
- ・金融機関の減損
- ・当社保有の永久証券に関連する信用及びその他のリスク
- ・運用資産の評価に適用される判断
- ・運用資産に係る減損金額の決定における重要な評価判断
- ・当社の条件に合致する円建て有価証券の限られた入手可能性
- ・特定の単一の発行体又はセクターに対する運用資産の集中
- ・日本に対する事業の集中
- ・デリバティブ活動の増加
- ・保険業界における継続的な変化
- ・重要な金融及び資本市場リスクに対するエクスポージャー
- ・為替相場の変動
- ・運用利回りの大幅な変動
- ・保険料率の設定や責任準備金の算定に用いる仮定及び実績の乖離

- ・ 子会社が当社に配当金を支払う能力
- ・ 法律及び政府当局による規制の変化
- ・ 優秀な募集人及び社員を引きつけ、維持する能力
- ・ 当社の財務力及び発行体格付けの引き下げ
- ・ 情報システムの開発・改善を継続する能力
- ・ 電気通信、情報技術及びその他の業務システムにおける障害、あるいはそのようなシステムに収録されているセンシティブなデータに関する安全性、機密性又はプライバシーの維持の失敗
- ・ 米国及び（又は）日本の会計基準の変更
- ・ 患者のプライバシー及び情報セキュリティに対する制約の不順守
- ・ 訴訟の内容及び結果
- ・ 主要な経営陣メンバーの後継者を効果的に選出する能力
- ・ 伝染病、パンデミック、竜巻、ハリケーン、地震、津波、テロ行為を含む大惨事及びそれに付随して起こる被害
- ・ 内部統制やコーポレート・ガバナンスのポリシー及び手続きの失敗



FOR IMMEDIATE RELEASE

**AFLAC INCORPORATED ANNOUNCES SECOND QUARTER RESULTS,
DECLARES THIRD QUARTER CASH DIVIDEND**

COLUMBUS, Georgia – July 30, 2013 – Aflac Incorporated today reported its second quarter results.

Reflecting the weaker yen/dollar exchange rate, total revenues rose 2.4% to \$6.0 billion during the second quarter of 2013, compared with \$5.9 billion in the second quarter of 2012. Net earnings were \$889 million, or \$1.90 per diluted share, compared with \$483 million, or \$1.03 per share, a year ago.

Net earnings in the second quarter of 2013 included after-tax realized investment gains, net of realized investment losses, of \$130 million, or \$.28 per diluted share, compared with net after-tax losses of \$272 million, or \$.58 per diluted share, a year ago. After-tax realized investment gains from securities transactions in the quarter were \$55 million, or \$.12 per diluted share. On an after-tax basis, hedging costs related to certain dollar investments of Aflac Japan were \$4 million in the quarter, or \$.01 per diluted share. Realized after-tax net investment gains from other derivative and hedging activities in the quarter were \$79 million, or \$.17 per diluted share.

Aflac believes that an analysis of operating earnings, a non-GAAP financial measure, is vitally important to an understanding of the company's underlying profitability drivers. Aflac defines operating earnings as the profits derived from operations before realized investment gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as nonrecurring items. Aflac's derivative activities primarily include: foreign currency, interest rate and credit default swaps in variable interest entities that are consolidated; foreign currency swaps associated with the company's senior and subordinated notes; and foreign currency forwards used in hedging foreign exchange risk on U.S. dollar-denominated securities. Management uses operating earnings to evaluate the financial performance of Aflac's insurance operations because realized gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as nonrecurring items, tend to be driven by general economic conditions and events or related to infrequent activities not directly associated with the company's insurance operations, and therefore may obscure the underlying fundamentals and trends in Aflac's insurance operations.

Furthermore, because a significant portion of Aflac's business is in Japan, where the functional currency is the yen, the company believes it is equally important to understand the impact on operating earnings from translating yen into dollars. Aflac Japan's yen-denominated income statement is translated from yen into dollars using an average exchange rate for the reporting period, and the balance sheet is translated using the exchange rate at the end of the period. However, except for a limited number of transactions, which includes the Aflac Japan dollar investment program, the company does not actually convert yen into dollars. As a result, Aflac views foreign currency as a financial reporting issue and not as an economic event for the company or its shareholders. Because changes in exchange rates distort the growth rates of operations, readers of Aflac's financial statements are also encouraged to evaluate financial performance excluding the impact of foreign currency translation. The chart toward the end of this release presents a comparison of selected income statement items with and without foreign currency changes to illustrate the effect of currency.

Operating earnings in the second quarter were \$759 million, compared with \$755 million in the second quarter of 2012. Operating earnings per diluted share increased slightly by .6% to \$1.62 in the quarter, compared with \$1.61 a year ago. The weaker yen/dollar exchange rate decreased operating earnings per diluted share by \$.22 for the second quarter. Excluding the impact from the weaker yen, operating earnings per share increased 14.3%.

Results for the first six months of 2013 were also suppressed due to the weaker yen. Total revenues were up .9% to \$12.3 billion, compared with \$12.1 billion in the first half of 2012. Net earnings were \$1.8 billion, or \$3.80 per diluted share, compared with \$1.3 billion, or \$2.71 per diluted share, for the first six months of 2012. Operating earnings for the first half of 2013 were \$1.5 billion, or \$3.31 per diluted share, compared with \$1.6 billion, or \$3.35 per diluted share, in 2012. Excluding the negative impact of \$.37 per share from the weaker yen, operating earnings per diluted share rose 9.9% for the first six months of 2013.

Reflecting the weaker yen/dollar exchange rate, total investments and cash at the end of June 2013 were \$103.9 billion, compared with \$107.4 billion at March 31, 2013.

In the second quarter, Aflac repurchased approximately \$129 million, or about 2.3 million shares, of its common stock. For the first half of the year, the company purchased \$279 million, or 5.3 million of its shares. At the end of June, the company had 17.2 million shares available for purchase under its share repurchase authorization.

Shareholders' equity was \$13.7 billion, or \$29.46 per share, at June 30, 2013, compared with \$15.5 billion, or \$33.34 per share, at March 31, 2013. Shareholders' equity at the end of the second quarter included a net unrealized loss on investment securities and derivatives of \$209 million, compared with a net unrealized gain of \$2.0 billion at the end of March 2013. The annualized return on average shareholders' equity in the second quarter was 24.3%. On an operating basis (excluding total net realized investment gains/losses in net earnings, and unrealized investment and derivative gains/losses in shareholders' equity), the annualized return on average shareholders' equity was 22.1% for the second quarter.

AFLAC JAPAN

In yen terms, Aflac Japan's premium income rose 8.6% in the second quarter. Net investment income increased 16.6%. Investment income growth was magnified by the weaker yen/dollar exchange rate because approximately 44% of Aflac Japan's second quarter investment income was dollar-denominated. Total revenues were up 10.0%. The pretax operating profit margin increased over the second quarter of 2012, improving to 21.5% from 19.6%, reflecting lower benefit and expense ratios, compared with a year ago. Pretax operating earnings in yen increased 20.1%. Excluding the impact of foreign currency on Aflac Japan's dollar-denominated investment income and expenses, pretax operating earnings increased 13.5%. For the first half of the year, premium income in yen increased 9.2%, and net investment income rose 11.8%. Total revenues in yen were up 9.8%, and pretax operating earnings grew 15.2%.

The average yen/dollar exchange rate in the second quarter of 2013 was 98.76, or 18.8% weaker than the average rate of 80.19 in the second quarter of 2012. For the first six months, the average exchange rate was 95.60, or 16.4% weaker than the rate of 79.88 a year ago. Aflac Japan's growth rates in dollar terms for the second quarter and first six months were suppressed as a result of the weaker yen/dollar exchange rate.

In dollar terms, premium income decreased 11.8% to \$3.7 billion in the second quarter. Net investment income was down 5.4% to \$653 million. Total revenues decreased 10.7% to \$4.4 billion. Pretax operating earnings declined 2.5% to \$940 million. For the first six months, premium income was \$7.6 billion, or 8.9% lower than a year ago. Net investment income fell 6.6% to \$1.3 billion. Total revenues were down 8.3% to \$9.0 billion. Pretax operating earnings were \$1.9 billion, or 3.7% lower than a year ago.

In the second quarter, total new annualized premium sales fell 43.1% to ¥30.3 billion, or \$307 million. Third sector sales, which include cancer and medical products, decreased 4.9% in the quarter. As expected, sales of the WAYS product declined sharply in the second quarter, leading to a 67.2% decline in bank channel sales.

For the first six months of the year, new annualized premium sales were down 20.4% to ¥84.1 billion, or \$885 million.

AFLAC U.S.

Aflac U.S. premium income increased 3.5% to \$1.3 billion in the second quarter. Net investment income was up 3.1% to \$158 million. Total revenues increased 3.4% to \$1.5 billion. The pretax operating profit margin increased to 19.5% from 18.3% a year ago, reflecting improvement in the benefit ratio. Pretax operating earnings were \$283 million, an increase of 9.9% for the quarter. For the first six months, total revenues were up 3.6% to \$2.9 billion and premium income rose 3.8% to \$2.6 billion. Net investment income increased 3.2% to \$314 million. Pretax operating earnings were \$564 million, 6.6% higher than a year ago.

Aflac U.S. total new annualized premium sales increased 1.4% in the quarter to \$364 million. Additionally, persistency in the quarter was 76.3%, compared with 76.6% a year ago. For the first half of the year, total new sales declined 1.9% to \$696 million.

DIVIDEND

The board of directors declared the third quarter cash dividend. The third quarter dividend of \$.35 per share is payable on September 3, 2013, to shareholders of record at the close of business on August 21, 2013.

OUTLOOK

Commenting on the company's second quarter results, Chairman and Chief Executive Officer Daniel P. Amos stated: "Aflac Japan's financial results were strong for the quarter, although they were masked by a substantially weaker yen. As anticipated, Aflac Japan's overall sales were down significantly in the second quarter. This was primarily the result of two factors: the repricing of WAYS and other first sector products, reflecting lower assumed interest rates; and improved investment returns for equities and fixed-income investments, which caused customers at banks to shift their focus from WAYS-type insurance products to investment trusts. Keep in mind, however, our sales target and focus is centered around the sale of Aflac Japan's third sector products, including cancer and medical. While third sector sales were down in the second quarter as expected, we continue to believe consumer response to our third sector products will be strong in the second half of 2013, particularly the fourth quarter, in large part due to the new medical product we'll be introducing in August. Therefore, we continue to believe Aflac Japan's sales of third sector products will be flat to up 5% for the full year. As we look ahead, I am very pleased with the new agreement Aflac Japan signed with the Japan Post group last week. This new agreement enhances our distribution and allows us to reach new consumers with our cancer insurance products."

"Aflac U.S. sales generated an increase of 1.4% in the second quarter, leading to a decrease of 1.9% for the first half of the year. While the unemployment rate has shown some signs of improvement, we continue to see hiring remain weak, especially at smaller employers where 90% of our business is written. While we're busy laying the groundwork for future growth, we're still working hard to achieve our annual sales target. We believe the need for our products remains very strong and are taking measures to better reach potential customers. We continue to look for opportunities to leverage our strong brand and relevant product portfolio in the evolving health care environment.

"Another important aspect of our business is maintaining strong capital ratios on behalf of our policyholders and bondholders, as measured by the risk based capital (RBC) ratio and the solvency margin ratio (SMR). While we have not yet completed our statutory or FSA financial statements for the second quarter, we estimate our quarterly RBC ratio at June 30 will be above 700%, which is higher than our 2012 year-end ratio of 630%. Additionally, we estimate that as of June 30, 2013, Aflac Japan's SMR will be approximately 585%, compared with 686% at the end of the first quarter. The decline in the SMR was primarily due to a spike in U.S. interest rates and the increase in Japanese interest rates, which lowered market values of the available-for-sale investment portfolio in Japan. It's important to note that the second quarter estimate for the SMR remains at the high end of our targeted range of 500% to 600%.

"I am pleased that our Japan new money yield for the first half of the year was 3.02%, which is significantly higher than our new money yield of 2.0% in the first half of 2012. In light of the financial market volatility in both the United States and Japan in the second quarter, our investment team has been

carefully evaluating investment options related to our asset allocation, as well as strategies to help mitigate interest rate risk. As such, we expect to allocate the majority of third quarter cash flows to JGBs and underweight the allocation to U.S. corporate hedged bonds. We remain committed to further building out our investment functions and capabilities to enable us to respond to a changing economic environment.

"As I communicated at our financial analysts meeting, our intention is to repurchase \$600 million of our shares for the full year. Additionally, our current plan remains to increase our share repurchase next year by purchasing \$600 to \$900 million of our shares.

"Our objective for 2013 is to increase operating earnings per diluted share 4% to 7%, excluding the impact of the yen. Although we are above that range for the first half of the year, we plan on increasing spending in the second half of 2013. In Japan, we will increase expenditures on advertising and promotion for our new product launch in August. In the United States, we anticipate increased costs associated with initiatives related to health care reform. As such, we expect operating earnings to increase approximately 5% for the full year, before the impact of foreign currency. We will face a difficult comparison in the third quarter due to the tax benefit of \$.10 per diluted share recognized in the same period last year. If the yen averages 95 to 105 to the dollar for the third quarter, we would expect earnings in the third quarter to be approximately \$1.41 to \$1.51 per diluted share. Using that same exchange rate assumption, we would expect full-year reported operating earnings to be about \$5.83 to \$6.37 per diluted share."

ABOUT AFLAC

When a policyholder gets sick or hurt, Aflac pays cash benefits fast. For nearly six decades, Aflac insurance policies have given policyholders the opportunity to focus on recovery, not financial stress. In the United States, Aflac is the number one provider of guaranteed-renewable insurance. In Japan, Aflac is the number one life insurance company in terms of individual policies in force. Aflac individual and group insurance products provide protection to more than 50 million people worldwide. For seven consecutive years, Aflac has been recognized by *Ethisphere* magazine as one of the World's Most Ethical Companies. In 2013, FORTUNE magazine recognized Aflac as one of the 100 Best Companies to Work For in America for the 15th consecutive year. Also, in 2013, FORTUNE magazine included Aflac on its list of Most Admired Companies for the 12th time, ranking the company number one in the life and health insurance category. Aflac Incorporated is a Fortune 500 company listed on the New York Stock Exchange under the symbol AFL. To find out more about Aflac, visit aflac.com or espanol.aflac.com.

A copy of Aflac's Financial Analysts Briefing (FAB) supplement for the quarter can be found on the "Investors" page at aflac.com, as well as a complete listing of Aflac's investment holdings in the financial sector that includes separate listings of the company's sovereign and financial investments in both perpetual and peripheral Eurozone securities.

Aflac Incorporated will webcast its quarterly conference call via the "Investors" page of aflac.com at 9:00 a.m. (EDT) on Wednesday, July 31, 2013.

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED JUNE 30,	<u>2013</u>	<u>2012</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 6,044	\$ 5,902	2.4 %
Benefits and claims	3,411	3,763	(9.4)
Total acquisition and operating expenses	1,275	1,398	(8.7)
Earnings before income taxes	1,358	741	83.3
Income taxes	469	258	
Net earnings	\$ 889	\$ 483	83.9 %
Net earnings per share – basic	\$ 1.91	\$ 1.04	83.7 %
Net earnings per share – diluted	1.90	1.03	84.5
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	465,213	466,788	(.3)%
Diluted	467,975	468,590	(.1)
Dividends paid per share	\$.35	\$.33	6.1 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

SIX MONTHS ENDED JUNE 30,	<u>2013</u>	<u>2012</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 12,252	\$ 12,142	.9 %
Benefits and claims	6,932	7,409	(6.4)
Total acquisition and operating expenses	2,601	2,790	(6.8)
Earnings before income taxes	2,719	1,943	40.0
Income taxes	938	675	
Net earnings	\$ 1,781	\$ 1,268	40.4 %
Net earnings per share – basic	\$ 3.82	\$ 2.72	40.4 %
Net earnings per share – diluted	3.80	2.71	40.2
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	465,834	466,337	(.1)%
Diluted	468,546	468,561	–
Dividends paid per share	\$.70	\$.66	6.1 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED BALANCE SHEET**(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AMOUNTS)**

JUNE 30,	<u>2013</u>	<u>2012</u>	<u>% Change</u>
Assets:			
Total investments and cash	\$103,936	\$ 109,255	(4.9)%
Deferred policy acquisition costs	9,028	9,961	(9.4)
Other assets	3,349	2,993	11.9
Total assets	\$116,313	\$ 122,209	(4.8)%
Liabilities and shareholders' equity:			
Policy liabilities	\$ 90,626	\$ 99,125	(8.6)%
Notes payable	4,946	3,672	34.7
Other liabilities	7,045	5,233	34.6
Shareholders' equity	13,696	14,179	(3.4)%
Total liabilities and shareholders' equity	\$116,313	\$ 122,209	(4.8)%
Shares outstanding at end of period (000)	464,820	468,110	(.7)%

RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED JUNE 30,	<u>2013</u>	<u>2012</u>	<u>% Change</u>
Operating earnings	\$ 759	\$ 755	.5%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	55	(228)	
Hedge costs related to foreign currency investments	(4)	–	
Impact of other derivative/hedging activities	79	(44)	
Net earnings	\$ 889	\$ 483	83.9%
Operating earnings per diluted share	\$ 1.62	\$ 1.61	.6%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	.12	(.49)	
Hedge costs related to foreign currency investments	(.01)	–	
Impact of other derivative/hedging activities	.17	(.09)	
Net earnings per diluted share	\$ 1.90	\$ 1.03	84.5%

RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

SIX MONTHS ENDED JUNE 30,	<u>2013</u>	<u>2012</u>	<u>% Change</u>
Operating earnings	\$ 1,549	\$ 1,569	(1.3)%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	97	(310)	
Hedge costs related to foreign currency investments	(7)	–	
Impact of other derivative/hedging activities	142	9	
Net earnings	\$ 1,781	\$ 1,268	40.4 %
Operating earnings per diluted share	\$ 3.31	\$ 3.35	(1.2)%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	.20	(.66)	
Hedge costs related to foreign currency investments	(.02)	–	
Impact of other derivative/hedging activities	.31	.02	
Net earnings per diluted share	\$ 3.80	\$ 2.71	40.2 %

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
(SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

THREE MONTHS ENDED JUNE 30, 2013	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes²</u>
Premium income	(8.3)%	7.4%
Net investment income	(3.8)	6.2
Total benefits and expenses	(9.2)	6.2
Operating earnings	.5	14.1
Operating earnings per diluted share	.6	14.3

¹ The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
(SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

SIX MONTHS ENDED JUNE 30, 2013	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes</u> ²
Premium income	(6.0)%	7.8%
Net investment income	(4.7)	3.9
Total benefits and expenses	(6.5)	6.9
Operating earnings	(1.3)	9.8
Operating earnings per diluted share	(1.2)	9.9

¹ The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

2013 OPERATING EARNINGS PER SHARE SCENARIOS

<u>Average Exchange Rate</u>	<u>Annual Operating EPS</u>	<u>% Growth Over 2012</u>	<u>Yen Impact</u>
79.81*	\$ 6.86 - 7.06	3.9 - 7.0%	\$ -
90	6.37 - 6.57	(3.5) - (.5)	(.49)
95	6.17 - 6.37	(6.5) - (3.5)	(.69)
100	5.99 - 6.19	(9.2) - (6.2)	(.87)
105	5.83 - 6.03	(11.7) - (8.6)	(1.03)

*Actual 2012 weighted-average exchange rate

FORWARD-LOOKING INFORMATION

The Private Securities Litigation Reform Act of 1995 provides a "safe harbor" to encourage companies to provide prospective information, so long as those informational statements are identified as forward-looking and are accompanied by meaningful cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those included in the forward-looking statements. We desire to take advantage of these provisions. This document contains cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those projected herein, and in any other statements made by company officials in communications with the financial community and contained in documents filed with the Securities and Exchange Commission (SEC).

Forward-looking statements are not based on historical information and relate to future operations, strategies, financial results or other developments. Furthermore, forward-looking information is subject to numerous assumptions, risks and uncertainties. In particular, statements containing words such as "expect," "anticipate," "believe," "goal," "objective," "may," "should," "estimate," "intends," "projects," "will," "assumes," "potential," "target" or similar words as well as specific projections of future results, generally qualify as forward-looking. Aflac undertakes no obligation to update such forward-looking statements. We caution readers that the following factors, in addition to other factors mentioned from time to time, could cause actual results to differ materially from those contemplated by the forward-looking statements: difficult conditions in global capital markets and the economy; governmental actions for the purpose of stabilizing the financial markets; defaults and credit downgrades of securities in our investment portfolio; impairment of financial institutions; credit and other risks associated with Aflac's investment in perpetual securities; differing judgments applied to investment valuations; significant valuation judgments in determination of amount of impairments taken on our investments; limited availability of acceptable yen-denominated investments; concentration of our investments in any particular single-issuer or sector; concentration of business in Japan; increased derivative activities; ongoing changes in our industry; exposure to significant financial and capital markets risk; fluctuations in foreign currency exchange rates; significant changes in investment yield rates; deviations in actual experience from pricing and reserving assumptions; subsidiaries' ability to pay dividends to Aflac Incorporated; changes in law or regulation by governmental authorities; ability to attract and retain qualified sales associates and employees; decreases in our financial strength or debt ratings; ability to continue to develop and implement improvements in information technology systems; interruption in telecommunications, information technology, and other operational systems, or a failure to maintain the security, confidentiality or privacy of sensitive data residing on such systems; changes in U.S. and/or Japanese accounting standards; failure to comply with restrictions on patient privacy and information security; level and outcome of litigation; ability to effectively manage key executive succession; catastrophic events including, but not necessarily limited to, epidemics, pandemics, tornadoes, hurricanes, earthquakes, tsunamis, acts of terrorism and damage incidental to such events; and failure of internal controls or corporate governance policies and procedures.

Analyst and investor contact – Robin Y. Wilkey, 706.596.3264 or 800.235.2667, FAX: 706.324.6330 or rwilkey@aflac.com

Media contact – Laura Kane, 706.596.3493, FAX: 706.320.2288, or lkane@aflac.com

###